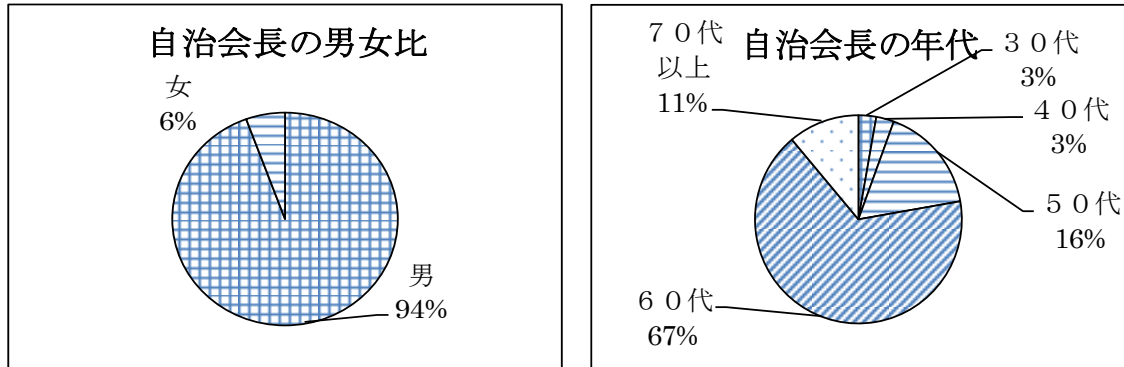


アンケートの結果より

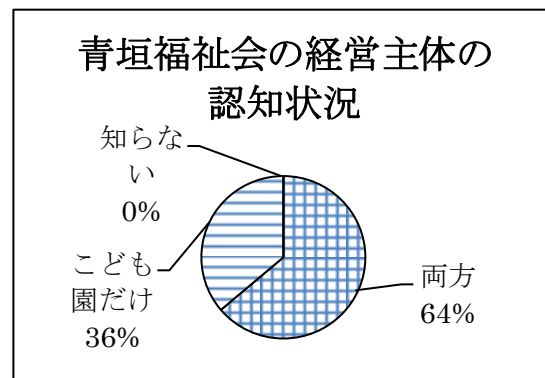
問1 回答者（自治会長）について



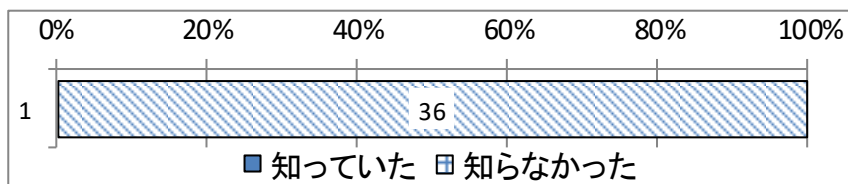
- ・自治会長は、男性が94%（34名）、女性は6%（2名）でした。
- ・年代別では、60代が一番多く67%（24名）でした。こども園や小学校に通うお孫さんがおられる年代でしょうか。

問2 青垣福祉会の運営・経営について

- ・「認定こども園あおがき」については、全ての方がご存知でした。
- ・「アフタースクールかえで」については、知っておられる方は、両方の64%（23名）でした。約3分の1の方は知っておられないということが分かりました。

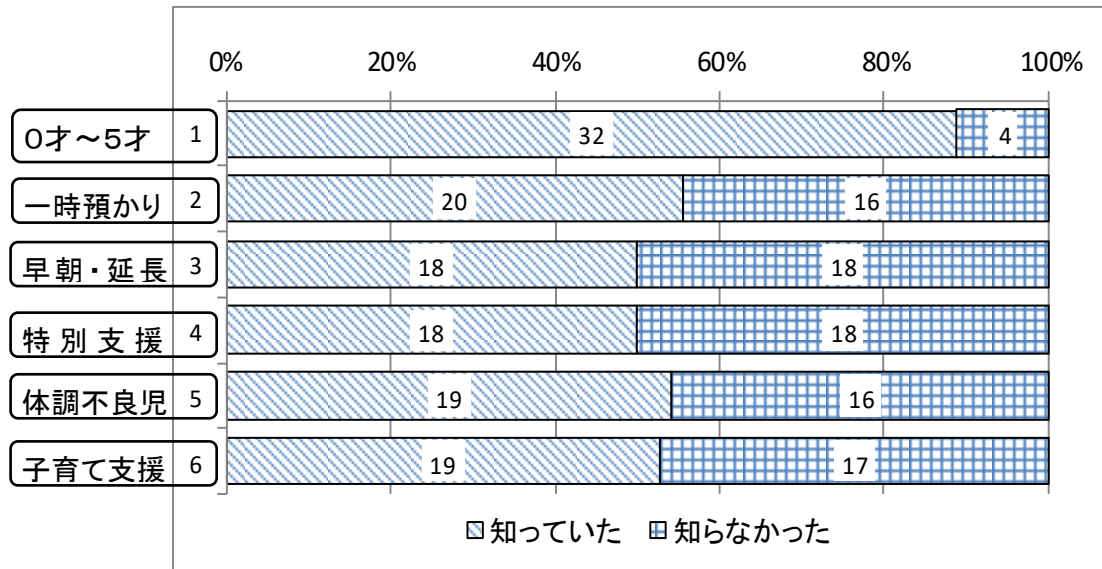


問3 「認定こども園あおがき」の場所



- ・「認定こども園あおがき」の場所については、全ての方がご存知でした。青垣住民センター前の交差点からよく見える場所だからでしょう。

問4 「認定こども園あおがき」の事業について



- 0才～5才 → 0才から5才までのお子さんを預かる。
- 一時預かり → 緊急または一時的に保育が必要な時にお子さんを預かる。
- 早朝・延長 → 午前7時～午後6時の範囲内で、早朝や延長の保育を行う。
- 特別支援 → 専門の先生を配置し、特別な支援が必要なお子さんを預かる。
- 体調不良児 → 保育中に体調を崩したお子さんへの対応を行う。
- 子育て支援 → 子育ての相談にのったり親子のつどいの場を提供したりする。

- ・ 0才から5才までのお子さんを預かっていることは、多くの方（約89%）が知っておられますが、その他の項目はおよそ半数（50%～60%）になっています。
- ・ 0才～5才以外の5つの項目すべて知っておられる方が11名（約31%）あり、逆にすべて知らない方が6名（約17%）ありました。こども園の事業について、知っておられる方とご存知ない方がはっきり分かれているように思います。知っておられる方は、お孫さんがおられる方ではないかと思えます。

問5 こども園にしてほしいことはどんなことですか。

※文章でお答えいただいた内容については、全て掲載しています。

- ・ 両親が安心して仕事しながら子どもを育てる手伝いをしてほしい。
- ・ 遊びの中からもいろいろなこと（知徳体）を学んでほしい。
- ・ すべての子どもが楽しく生活できる園づくり。
- ・ 定員をオーバーしても入園したい人は全て受け入れる。
- ・ 明るく協調のできる子どもの育成。

- ・保護者や地域住民が安心して子どもを預けることができるこども園の運営に努めてほしい。
- ・孫もこども園に通園しているのですが、親の参加する行事が近年増えていると思います。両親共働きで行事に参加してやりたいのですが、仕事の都合上なかなか休みを取ることも難しそうです。もう少し親の参加する行事を減らしてはどうでしょうか。
- ・大変だと思いますが、一人一人の子どもへの対応を、さらに十分に支援するよう依頼します。
- ・集団生活のルールを教えてほしい。子ども同士が上手に付き合えるよう働きかけてほしい。
- ・対象の子どもがいないため（自治会内に）、特に無し。
- ・子どもと同居していないので、自分の子どもの時とはちがい、対応して頂くことが増えているので良い。
- ・それぞれの年齢に合わせた指導と環境作り。
- ・安心、安全な子育てを継続して下さい。
- ・認定こども園のグラウンドを子どもの遊び場に開放してほしいという声を聞きます。（土日）
- ・子どもが生活や遊びを通してたくさんの経験が出来るように。
- ・福祉会の運営自体が分からないので、要望等が見当たりません。
- ・休日の園庭を開放してほしい。（地域の子どものみならず、里帰りする孫たちの児童公園が無い為）

こう考えています

① 定員オーバーしても全て受け入れてほしい

定員の考え方には、認可定員と利用定員の2種類あります。前者は施設の広さによる定員で、当園は220名です。後者は申し込み状況により設定する定員です。本年度は175名ですが、来年度は申し込み人数が減っていますので165名の予定です。年度途中で申し込み者が増えた場合は、利用定員を超えても受け入れますが、認可定員を超えることはできません。青垣町の子ども数は年々減少傾向にあるので、認可定員を超えることは無いと思われれます。しかし、問題なのは先生の人数により受け入れられないことがあることです。マスコミ等の報道によりこども園や保育園の先生が全国的に不足していることはご存知だと思います。当園でも昨年度から正規職員の先生が2名減り、来年度はさらに減ることが予想されます。これ以上減ると受け入れられない状況になる恐れがあります。余裕ある経営をするために職員の募集を継続的に行って

いるのですが、応募が無い状態です。お知り合いの方に免許を持っておられる方があればご紹介ください。

② 親の参加する行事が近年増えていると思います

保護者の皆様には、こども園の色々な行事に参加いただき感謝申し上げます。参観して頂くだけでなく、保護者とお子さんが一緒になって取り組む参加型の参観日を大事にしています。参加型は、普段の子どもたちの遊びの中に保護者の方にも入っていただき、子どもたちがどんなふうにこども園生活を楽しんでいるかを身近に感じてもらうことができます。こども園としても、担任だけではできない活動が保護者の方々の力をお借りして経験させてあげられるという良さもあります。しかし、保護者の皆さんの負担になっていたら反省しなければならないと思います。また、こども園の職員が減っている中で、今までの行事を続けて行くことが難しくなっているという現状もあります。

そこで、今までの行事や業務内容の見直しが必要と考え、12月からその検討に入りました。来年度の初めには検討結果をお知らせします。その折にはご理解・ご協力をお願いします。

③ こども園のグラウンドを子どもの遊び場に開放してほしい

グラウンドの開放については、事故等によるお子さんの怪我や施設の破損などが問題になりますので、開放は難しいと考えています。

現在、青垣住民センターの別館の取り壊しが行われています。この跡地と裏側にある公園を活用して、新しい公園として再整備してもらえるように、市に対して青垣地域自治振興連合会から要望してもらっています。

問6 こども園で、どのような子どもに育ててほしいですか。

- ・明るく元気な子
- ・心身ともに健やかな子
- ・元気で明るい子
- ・ふるさとを意識させてほしい。
- ・いじめをしない、明るく、元気な子ども。何か自分の好きなことに打ち込める子ども。
- ・明るく協調のできる子どもの育成
- ・やさしく思いやりのある子に
- ・場所をわきまえた行動ができる子に指導してほしい。
- ・園の目標にそって保育・教育を進めてもらえれば異論はありません。お任

せします。

- ・自由闊達な元気な子
- ・現状のままで良いと思います。
- ・個人差がありますが、先ずは挨拶ができる子を育ててほしいと思います。
- ・子ども一人一人が愛されているということを実感し、自分を大切にする気持ちと共に相手を思いやる気持ちを育ててほしい。
- ・皆と仲良く心身ともに豊かな子。
- ・子ども達自身が生活遊びの中で色々なことを学んで、自己決定できるよう伸ばしてほしい。
- ・今のままで十分満足しています。明るくて子どもらしく元気な子どもを育ててください。
- ・みんなと仲よくできる子。自分でよく考え工夫できる子。自分でできることは自分でする子。
- ・協調性のある子どもに育ててほしい。人の気持ちが解かる子どもになってほしい。
- ・元気で物を粗末にしない子に。
- ・保育目標に掲げる子ども。
- ・他人に関心が持てる子ども、思いやりが持てる子ども。
- ・しっかりした理念。目標をかかげ事業をされているので、この姿勢に一步でも近づけるよう頑張ってください。

こう考えています

④ こんな子どもに育てたいと思っています。

たくさんのご意見ありがとうございました。どれをとっても子どもたちの成長に欠かすことのできないことばかりだと思います。家庭と連携しながら、子ども達がより良く成長していけるように取り組んでいきたいと思っています。本園では、「めざすこども」として、次のように掲げています。

㍷ たたかく、㍻ だやかな心、㍼ まん強く、㍽ らきら輝く個性

- ・最後までやりぬく子ども
- ・話をしっかり聞ける子ども
- ・自然を愛し生命を大切にする子ども
- ・よく遊び自分の思いをのびのび表現できる子ども
- ・仲良く遊び思いやりのある子ども
- ・食べ物に感謝の気持ちを持つ子ども

いただいたご意見の中に、「ふるさとを意識させてほしい。」ということがありました。当福社会では、昨年度、当法人の理念の再確認をした時に、「ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持つ子ども」になってほしいという意見が多く出されました。そこで、当法人の基本理念の一つ「郷土愛」として「地域を愛し大切にすることを育てます」としました。そこで、今年度は特に地域の方や地域の自然とのふれあいを大切にして取組を進めています。

問7 将来どのようなこども園になってほしいですか。

- ・地域住民とのふれあいを多くして安全に通園出来て安心して預けられるこども園になってほしい。
- ・今の取組を継続して行ってほしい。
- ・子育てのセンター的役割
- ・地域に開かれたこども園になってほしい。
- ・幼児教育を充実させ、小学校教育への糧となるようなこども園になってほしい。
- ・それは貴方たちの努力に頼ります。
- ・保育園で園児が虐待されるという報道が相次いでいます。親も園児も安心して利用できるこども園になってほしい。
- ・何か特色ある園、例えば体育を特色とする、英語の取り組みなど。
- ・今の伸び伸びと自然にも触れられる良い環境を職員の方々の負担も少ない風通しの良い園でありますよう。
- ・祖父母がいる家庭が少なくなってくるのでは……。忙しく、時間の都合が合わせられない家庭も多いと思います。細かく対応していただければ嬉しく思います。
- ・誰もが行きたがるような明るい園。環境のよい楽しい園。
- ・今後も、安全で安心して任される園に。
- ・理念の達成に日々努力して下さい。
- ・保護者が子ども達を安心して預けることができる。

⑤ こんなこども園にしたいと思います

◎ 安心・安全な環境作りに努めます。

再確認した基本理念の「信愛」に「保護者と園の信頼関係の上に立った安心・安全な子育てに取り組めます」と見直し、安心・安全な環境作りの重要性を強調しています。具体的には、

- ・火事や自然災害、不審者対応などいろいろな場面を想定した避難訓

練を毎月行っています。

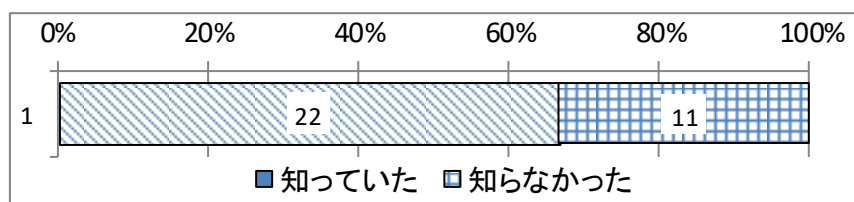
- ・旧園から使用していた遊具等の点検を定期的に行いつつ、新しい遊具の導入も考えています。
- ・嘔吐処理の方法を見直したり除菌の徹底に努めたりしています。
- ・先生方の指導力向上のための研修を定期的に行っています。

◎ 地域とのつながりを大切にしたい、開かれたこども園を目指します。

- ・今年度、神楽地区と遠阪地区の高齢者のつどいに、園児が参加し高齢者と触れ合いました。佐治地区では八宿祭りにそら組の和太鼓が参加しました。
- ・介護施設との交流は、オープン参観、運動会、音楽会、発表会のリハーサルや夏祭りなど、園の行事に声をかけ、子ども達とふれあいをもって頂きました。

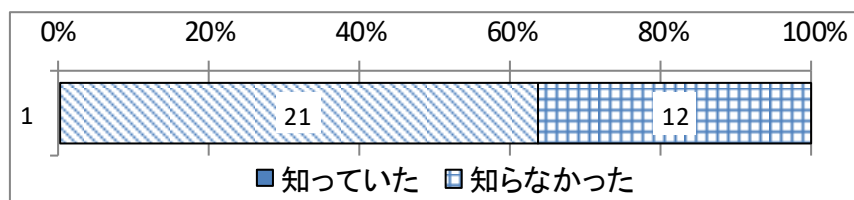
また、七夕まつり、ミニ運動会、もちつき大会に招待を受け、共に参加しました。

問 8 「アフタースクールかえで」の業務について（小学生を放課後や長期休業中に預かっている。）



- ・約67%（22名）の方が知っていたと回答されています。22名の内、19名が「アフタースクールかえで」を経営・運営している事を知っておられました。あとの3名はアフタースクールの存在は知っていたが、青垣福祉会が経営・運営していることは知っていなかったということだと思います。

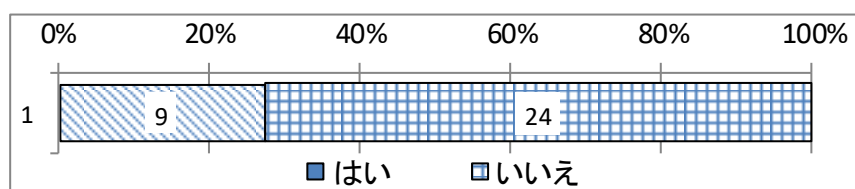
問 9 「アフタースクールかえで」の場所



- ・約64%（21名）の方が知っていたと回答されています。21名のうち19名が「アフタースクールかえで」の業務を知っておられる方です。

た。3名は業務は知っているが場所は知らなかったという方です。以前、アフタースクールは旧芦田保育園を使っていましたが、平成29年度から青垣小学校の敷地内に移転したことをご存知なかったのでしょうか。

問10 青垣福祉会のホームページをご覧になったことありますか。



- ・ホームページを観たことがある方は、約27%でした。思っていたよりたくさんの方に観ていただけていました。しかし、もっと観ていただけるように工夫をしなければならなかったと思います。
- ホームページを見てお気づきの点は

- ・見やすく、分かりやすいHPでした。
- ・楽しい場面ばかりでなく、反面的なページもいいのかも？
- ・タイムリーに更新されていない部分があるので、速やかに修正されたらよい。(今の役員が不明 (例) 役員名簿 (H30年度→令和元年度 現在に))
- ・活字をもう少し大きくしてほしいです。
- ・しっかりした教育理念を持ち、組織的な取組で改善していこうとする意欲を感じる。

こう考えています

⑥ ホームページの速やかな更新を

ご指摘ありがとうございました。早速訂正しました。また、より多くの方にみて頂けるように、トップ画面に毎週金曜日「今週の一枚」という子どもたちの活動を映した写真を掲載していますのでご覧ください。

⑦ 活字を少し大きくしてほしい

文字を少し大きくしました。ホームページを作るソフトの機能の関係でこれ以上は大きくならないようです。パソコンでみた時とスマホでみたときでは、画面の見え方が違うようです。文章の改行が上手くいっていないのはそのためですのでよろしくお願いします。

問 1 1 今後、青垣福祉会に期待することはどんなことですか。

- ・今のままで頑張ってください。
- ・教育保育の層の充実
- ・情報の公開
- ・きめ細かい事業
- ・法人の基本理念・教育及び保育の理念は素晴らしいです。今後も維持継続されることを期待しています。
- ・前向きにいろいろな情報を見て、活動の程お願い致します。
- ・青垣に子どもが遊べる公園が無いので作ってほしい。バス通学になり子どもの体力面が心配。
- ・楽しく通える園であってほしい。
- ・今後もよろしくお願いします。
- ・元気で明るい子どもたちの育成に尽くしてほしい。
- ・地域住民（青垣）と密接な連携と情報提供を積極的に取り組んで下さい。
（例：行政無線放送の活用 主な行事の案等）
- ・若い人たちが是非青垣で子育てをしていきたいと思えるようなこども園にしてほしい。

こう考えています

保育教諭の不足、少子化・過疎化による子どもの減少等、当福祉会では大きな課題を抱えています。しかし、地域の皆さんの熱い思いに支えられ出発した「認定こども園あおがき」と「アフタースクールかえで」を、子どもたちが楽しく通える、そして職員が気持ちよく働ける場所になるように努めていきたいと考えています。そのためには、まず地域の方々にこども園やアフタースクールの活動内容を知っていただくことが大事だと思います。園だよりの全戸配布やホームページの見直しもそのための取組です。行政無線放送の活用もしていく予定です。また、こども園は毎日が参観日と考えています。いつでも気軽に覗いて頂き、先生方の指導の様子や子どもたちの活動の様子をご覧ください。（来園時には、不審者と間違われぬように、事務所に必ず声を掛けてください。）そして、子どもたちの活動等で手助けして頂けることがありましたらご協力頂ければ幸いです。よろしくお願いいたします。